



表紙のことは

7月16日、浅羽海岸で「ふれあい海岸まつり」が行われました。海岸では、「宝探し」や「綱引き」、「スイカ割り」など多彩なイベントが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。冷たいかき氷や焼きそばを販売する「海の家」は、行列ができるほどの盛況ぶり。海水をためた海水プールでは、気持ちよさそうに泳ぎ、パネルの展示コーナーでは、松林や砂浜の歴史や海岸の現状を学び、会場を訪れた皆さんは浅羽海岸の魅力を再発見した様子でした。

110番・119番
7月1日～31日

交通事故件数 76件 (+21件)

交通事故死者数 0人 (-1人)

交通事故負傷者数 104人 (+28人)

火災件数 4件 (+3件)

救急出動件数 201件 (+45件)

カッコ内は前年同月比較

広報 **ふくろい** 袋井市の市章

2006年(平成18年)8月15日発行 第34号

編集・発行／
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111 (代表)
【ホームページ】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
【携帯サイト】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>
【Eメール】
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

100% 古紙配合率100%再生紙を使用しています

おでかけスポット

命山 (いのちやま)

■命山の由来

～村人の命を救った塚～

中新田・大野地内には、「命山」と呼ばれる長方形の大きな塚が2つあります。

この地域は昔、入り江が深く入り込んでおり、地震や台風による津波にたびたび襲われていました。

延宝8年(1680年)には、江戸時代最大の台風が遠州地方を通りました。高潮と重なった遠州灘から大きな津波が発生し、何度も海岸線を襲いました。津波は入り江の奥深くに入り込み、村全体が津波にのみこまれて多くの人々が亡くなり、大きな被害を受けました。

そこで村人は、その悲劇を繰り返すまいと考え、避難用に村の中心に高い塚を築きました。その後、何度も津波が村を襲いましたが、この塚のお陰で大勢の命が救われ、村人たちはいつしかその塚を「命山」と呼ぶようになったそうです。

当時、塚の上には、いつも小舟が用意してありました。村中が何日も水につき、食料がなくなると、村人たちは、その小舟を使って、横須賀の城下へ買い出しに出掛けたという記録も残っています。



大野命山

粘土質の土を盛り上げて築かれました。
高さ3.7メートル。



中新田命山

砂質の土を盛り上げて築かれました。
高さ5メートル。



生涯学習課文化財係
☎23-9269